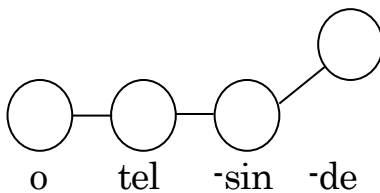
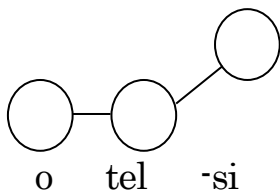
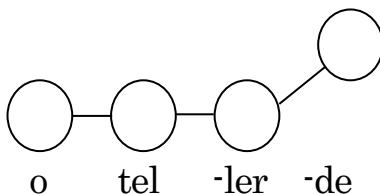
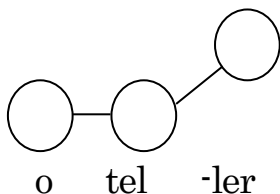
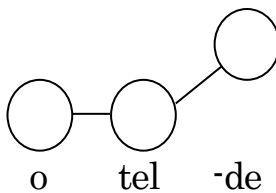
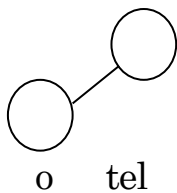


アクセントとイントネーション

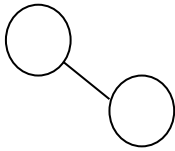
基本的には、高さの違いでアクセントやイントネーションを表現していると思っていただいて問題ありません。ですから、英語のような強弱をつけた話し方ではありません。特に、弱く発音することがない点は、日本人にとっては非常に楽な点です。

単語の名詞アクセントに関しては、基本的には単語の終わりのところが高くなります。また、接辞がいくつあっても単語の終わりが高くなることは変わりません。

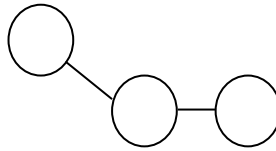
「otel (ホテル)」という単語でみてみましょう。



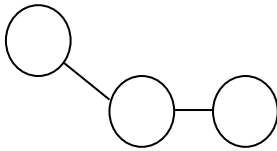
「müze (美術館)」という単語は語頭が高くなる例外アクセントです。この場合、接辞があっても語頭だけが高くなります。



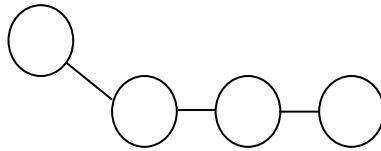
mü ze



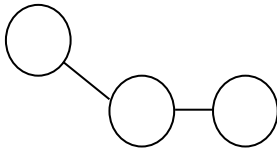
mü ze -de



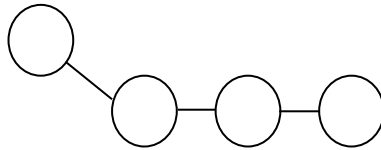
mü ze -ler



mü ze -ler -de



mü ze -si



mü ze -sin -de